

応急手当とその基本

今回の学習内容

5分間でどんな応急手当をするかによって、人の生死が決まってしまうことがあります。今回は皆さんが、「運命の5分間」で迅速かつ適切に応急手当ができるよう、その目的と手順の基礎を学びます。また、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人ひとりが適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身につけるとともに、自ら進んで行う態度を養うことが必要であることを理解しましょう。



講師
武市可奈子

壇蜜 先生

(学習メモ執筆)

応急手当その目的は？

心臓停止の状態でおよそ3分間放置される
呼吸停止で10分間放置される

➡ 死亡率 50%

急病や負傷などの場面に遭遇したとき、応急手当を行った場合、生存率が1.6倍以上高くなっているといわれています。「運命の5分間」にどのような応急手当を受けるかで、生死が決まってしまうこともあるのです。

● 「応急手当」の目的

- ①救命
- ②悪化防止・苦痛の軽減
- ③その後の処置や治療の向上

応急手当にかかわることの大切さ

けがや病気の人を見かけたとき「何もしない」と答えた人たちの中で、「誤った応急手当をしたら責任が問われそうだから」と答えた人が全体のおよそ23%いました。しかし、日本では法律的に「悪意または重い過失がない限り、善意で実施した救命手当の結果に救命手当の実施者が被災者などから責任を問われることはない。」とされています。



応急手当の知識があれば、「自分の大切な人や誰かの大切な人」を救うことができるかもしれません。

応急手当の手順

- ①安全の確認：二次災害防止のため、周囲の状況が安全か確認する。
- ②反応の確認：肩を優しく叩きながら大声で呼びかけて反応の有無を確認する。
反応がない → 救援の依頼
例：「119 番通報をしてください！」
「AED を持ってきてください！」
- ③呼吸の観察：胸と胸部の動きを見て、観察する。
呼吸なし → 胸骨圧迫から心肺蘇生法を行う

救急車の呼び方を練習しましょう！

あなた：(119 番に電話)

消防署：「火事ですか、救急ですか」

あなた：「救急です」

消防署：「どうしましたか？」

あなた：「急病です」／「交通事故です」など

消防署：「何区（市）、何町、何丁目、何番、何号ですか」

あなた：「〇〇ビルの目の前です」

消防署：「あなたの名前と電話番号を教えてください」

あなた：(答える)

消防署：「はい、わかりました」

! 自動販売機に設置された場所の住所が書かれている場合があります。